# 輝生会事業所通信

初台リハビリテーション病院

## 今年度もより良いサービス提供に努めます

昨年度、当院では大規模な改修工事を行いました！　8月には職員食堂の拡張、10月には空調機、1月には約1,000本もの電球をLEDへと変更しました。
改修工事にあたっては患者さま、ご家族さまにご迷惑をおかけしましたが、ご理解ご協力いただけました事、感謝申し上げます。
ご来院になった際には是非明るくなった院内をご覧になっていってください。
これからもより良いサービスを提供できるように努めてまいります。

船橋市立リハビリテーション病院

## 本格7段飾りの雛壇!

毎年恒例のお雛様を1階総合受付前に飾りました。自宅では見る機会が少なくなった本格的な7段飾りのお雛様を、面会に訪れたご家族やご友人の方々が写真を撮っていかれる姿もありました。
縁起物ですので、3月4日に片付けを行いましたが、面会の方からは寂しくなったね…との声も聞かれました。時代と共に簡略化されがちな伝統ですが、昔ながら変わらないものの素晴らしさを改めて感じることが出来ました。

船橋市リハビリセンター

## 第13回船橋市地域リハビリテーション大会、大盛況でした!

当センターでは、地域リハビリテーション推進のため、「船橋市地域リハビリテーション拠点事業」を行っています。このたび事業の一環として研究大会を開催し、104名に参加いただきました。特別講演では、岩名礼介氏（三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）に「地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション」についてご講演をいただき、参加者からは「話が大変分かりやすかった」「今後の方向性を考える上でとても参考になりました」との声が多数よせられ大盛況でした。今年度は年2回開催予定です。

在宅総合ケアセンター元浅草

## 地域包括ケアをテーマに専門家らが積極的に意見交換

去る3月19日、第1回台東区地域リハビリテーション研究大会を開催しました。
特別講演では元厚生労働省老健局長の中村秀一氏に「地域包括ケアについて」講演をしていただき、シンポジウムでは、訪問診療、訪問歯科、訪問薬剤、訪問介護、訪問看護、訪問リハビリの専門家らが「台東区における訪問系サービスの現状と課題」を浮き彫りにしました。会場では積極的な意見交換を行われ、参加した医療・介護・福祉関係者らの関心度の高さがうかがえる大会となりました。

在宅総合ケアセンター成城

## センター長退任にあたってのご挨拶

センター長兼クリニック院長の井上智貴は、平成25年7月より2年9ヶ月の間、総合的な在宅医療の推進を目指すとともに、皆さまがより安心して暮らしていくことを支援するためのセンター作りを目標として頑張ってまいりましたが、3月31日をもちまして退職となりました。在任中は、皆さまのご支援を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。末筆ではございますが、今後の皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

季刊情報誌「輝net」　編集･発行　医療法人社団 輝生会　本部／〒110-0015 東京都台東区東上野1-28-9 5F　http://www.kiseikai-reha.com


| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 初台リハビリテーション病院 | 〒151-0071 | 東京都渋谷区本町3-53-3 | TEL.03-5365-8500 | http://www.hatsudai-reha.or.jp |
| 船橋市立リハビリテーション病院 | 〒273-0866 | 千葉県船橋市夏見台4-26-1 | TEL.047-439-1200 | http://www.funabashi-reha.com |
| 船橋市リハビリセンター | 〒274-0822 | 千葉県船橋市飯山満町2-519-3 | TEL.047-468-2001 | http://www.funabashi-rehacen.com |
| 在宅総合ケアセンター元浅草 | 〒111-0041 | 東京都台東区元浅草1-6-17 | TEL.03-5828-8031 | http://www.motoasakusa-reha.com |
| 在宅総合ケアセンター成城 | 〒157-0072 | 東京都世田谷区祖師谷3-8-7 | TEL.03-5429-2292 | http://www.seijo-reha.com |

本誌へのご意見ご要望はメールにてお寄せください。　contact@kiseikai-reha.com


kisei·kai 情報誌

# 輝NET（かがやきネット）

2016 Apr. 春号
平成28年4月20日（通巻 第47号）

## 院長･センター長の就任ご挨拶

### 初台リハビリテーション病院

菅原英和

回復期リハ病棟の役割は、急性期病院から迅速に患者さんを受け入れ、十分な医学的管理のもと合併症の予防･治療をしながらリハを軌道に乗せ、必要十分なリハを集中的に提供し、チームアプローチを駆使して出来る限りの機能・能力の改善を図り、地域と連携を取りながら可能な限り家庭復帰を支援することにあります。また、個々の患者さまが自分なりの役割や生きがいを持って暮らせるよう、退院後も支援できる体制を整備することも重要です。当院では、これらの役割をしっかりと担うために様々な取り組みを全国に先駆けて実践してきました。

今後もその流れを継承しつつ、現状に満足することなく、さらなる質の向上に向けて病院全体で取り組んでいきたいと考えています。そして、患者さまやご家族から「初台でリハビリをして本当に良かった」と思っていただけるよう精いっぱい努力していきたいと思います。

### 在宅総合ケアセンター成城

梅津博道

平成28年4月1日より在宅総合ケアセンター成城に勤務することになりました梅津と申します。井上智貴医師の後任としてセンター長を務めさせていただきます。

私は、医療法人社団「輝生会」には、平成14年の初台リハビリテーション病院開院の年に就職、初台6年、船橋市立リハビリテーション病院6年、また初台2年と全て回復期中心の病院に勤めてまいりました。つまり在宅総合ケアセンターにおける勤務は今回初めてとなります。

今年、成城は改修の上、ベッドを増やして有床診療所から病院化することが予定されており、何かと慌ただしい年になりそうです。前センター長を上回れるのは年齢くらいですが、心機一転、新たな気持ちで頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## 114名が入職しました

桜の開花の知らせが届く4月1日、輝生会では新入職員114名を迎える入社式を執り行いました。本年度は医師4名、看護師24名、ケアワーカー9名、理学療法士31名、作業療法士29名、言語聴覚士11名、ソーシャルワーカー3名、ケアマネジャー1名、栄養士2名が新しい仲間になりました。名前を呼ばれて石川誠理事長からの辞令を受け取り、ひとりひとりから緊張の中にも喜びが伝わってきました。

入社式終了後はすぐに研修が開始されました。石川理事長による講義は、医療・福祉の歴史、輝生会設立への思い、そして輝生会が大切にしている「理念」など多岐に亘る興味深い内容で、輝生会の熱い思いが伝わります。新入職員も熱心に聞き入っていました。さらに、今後5日間の研修で「医療安全」、「感染対策」、「医療倫理」、「個人情報保護」、「接遇」、「現場での具体的なリハケア技術」など、輝生会職員として必要な基本をしっかり学ぶことになります。当法人の充実した研修システムに支えられ、新入職員たちは専門職として、社会人として輝生会職員らしく成長していくことでしょう。

平成28年度も、輝生会は新入職員を含め1,300名の職員がスクラムを組んで患者さま、利用者さま、ご家族さまのために全力で努めます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 基本理念と方針 | ■「人間の尊厳」の保持<br>■「主体性･自己決定権」の尊重 | ■「地域リハビリテーション」の推進<br>■「ノーマライゼーション」の実現 | ■「情報」の開示 |
| 患者さまの権利 | ■ 人権を尊重される権利<br>■ 自分の診療の情報や記録を知り、求める権利 | ■ 最善の医療を受ける権利 | ■ 自らの意思で選択･決定する権利<br>■ プライバシーの保護を求める権利 |

輝生会 理学療法部門・作業療法部門の取り組み

# 当法人で導入している最新リハビリテーション支援ロボットとトレーニング機器のご紹介

初台リハビリテーション病院、船橋市立リハビリテーション病院は、回復期リハ病棟・リハ外来・通所リハ・訪問リハで構成されたリハ専門病院であり、最も機能改善が期待できる「回復期のリハ」と、退院後の「生活期のリハ」を担当しています。

両病院ともに関東圏トップクラスの広大なリハビリテーション室を備えており、自然光を多く取り入れた明るい空間に、専門性の高い様々なリハビリテーション機器を揃えています。回復期リハ病棟の目的は、「日常生活動作の向上」「寝たきりの防止」「在宅復帰の推進」であり、退院後の生活に大きく影響を及ぼす「移動能力向上」と「日常生活動作の向上」に最も力を注いでいます。

一方で、リハ外来では、患者さまからのご要望が多く、また昨今のニューロリハでも注目を浴びている「上肢機能の改善」に力を入れています。

今回は、リハを効果的に行うためには欠かせない機器について、実際に理学療法と作業療法で導入している最新機器を中心にご紹介いたします。

## 上肢機能改善

### ◎上肢訓練用ロボット　ReoGo-J

脳卒中後の中等度の上肢麻痺がある方の肩・肘の機能改善を目的とした訓練用ロボットです。機器の側方に座り、前方の画面に映し出されるターゲットに合せて伸縮する構造を持つアームを操作します。17種類の訓練メニューを5つの訓練モードで組み合わせ、オーダーメイドのプログラムを作成することができます。身体に近い位置から徐々に遠い位置へ段階付けて可動範囲の拡大を促すことが可能です。ロボットの一部介助の元、訓練時間すべてにおいてアクティブな要素を含んだ訓練を実施することができ、十分な訓練量を確保することできることが最大の特徴です。

### ◎随意運動介助型電気刺激装置 MURO Solution

脳卒中後の中等度の上肢麻痺がある方の手指の機能改善と日常生活での麻痺手の使用能力を改善することを目的とした電気刺激装置です。通常の電気刺激装置と異なり、指を伸ばそうとした際に生じる電流を検知しリアルタイムで刺激が入るため、ご自身で指を伸ばす動きをサポートしてくれます。電動アシスト自転車のアシストを想像していただけるとわかりやすいかと思います。小型で上腕に装着することが可能なため、机上の訓練課題に限らず、家事動作など様々な日常生活場面訓練で使用することができるのが特徴です。

## ストレッチ&リラクゼーション

### ◎パワープレート

プレートの上に乗り姿勢をとり、1秒間に20～50回の3次元振動刺激を与えることで、ストレッチングやリラクゼーション効果が得られ、また筋力強化の効果を高めることができます。当法人では、主に手足の痙縮(筋の突っ張り)に対するアプローチとして活用しており、運動や生活動作練習の前に使用しリラクゼーションを図ることで、動作が行いやすくなるなどの効果が得られています。

## 移動能力向上

### ◎バランス練習アシストロボット

バランス確保が不自由な方が、ゲーム感覚で飽きずに楽しくリハビリテーションを継続できるよう支援するロボットです。

立ち乗り型パーソナル移動支援ロボット「Winglet」に乗り、前方の画面を見ながら前後左右に体重移動を行います。

前後方向に能動的な重心移動を行う「テニスゲーム」、左右方向に重心移動を行う「スキーゲーム」、組み込まれた多様な外乱に抗する「ロデオゲーム」など3種類のゲームを楽しみながらバランス能力の改善が期待できます。特にロデオゲームは人の手では再現し難かった外乱刺激が可能となり今まで難しかった練習の提供が可能となっています。

### ◎歩行練習アシストロボット

下肢麻痺で歩行が不自由な方が自然な歩行を習得できるよう、リハビリテーション初期から支援するロボットです。

麻痺した脚にアシストロボットを装着し、脚を前方に振りだす動作や、膝を伸ばして体重を支える動作を患者さまの回復の度合いに合わせて段階的にアシスト調整することが可能です。

一定した環境で歩行練習を反復することや長時間の歩行練習が実施しやすく、また歩行時の課題が画面表示されることや、歩行状態を音でリアルタイムに知らせることが可能となっており、課題調整が難しい場合でも対応がしやすくなっています。

### ◎免荷式リフト歩行器 POPO

従来の歩行器にリフト機能が備わっており、リフト機能で安全に立ち上がり、体重を免荷して歩行することが可能となっています。そのため転倒するリスクを軽減し、安心して、意欲的に歩行練習に取り組むことができます。

### ◎部分免荷式 トレッドミル

ハーネスによって、体重を部分免荷した状態で、トレッドミル上を歩行する課題志向型の歩行練習器です。患者さまの状態に合わせて免荷量の調整が可能であり、転倒リスクを軽減した状態でも歩行再教育が可能になります。

ご紹介したリハビリテーション機器は、積極的な運動を提供するための「道具」ではありますが、最新のリハロボットはセラピストが行う「機能・能力回復訓練の補助」を行っています。患者さまがより親しみやすく、気持ちよくリハビリに取り組めるきっかけを提供できるものであり、今後ますますリハロボットに対する期待は高まっていくと予想されます。患者さまの機能・能力の回復を促進し、活動と参加につなげ、自己実現の可能性を最大限広げられるよう、これからも最新の機器を取り入れながらリハビリテーションサービス提供の質を高めていきたいと思います。

理学療法部門　作業療法部門